

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	観光型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・3か月前に比べてやや客の増加、単価の動きがみられ、景気の上向きになっていることが実感される。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	お客様の様子	・一概には言えないが、この時期バーゲンということで、従来は買い控えていたのが少し買い始めている。もうぼつぼつ買わなければならないという動きとしては、活気付いてきている。
		一般小売店 [100円商品] （店員）	単価の動き	・客の様子をみると、若干ではあるが、客単価が上向きに伸びている。景気が少し上向いてきている兆しかもしれない。
		百貨店（販売担 当）	お客様の様子	・夏物セールが前年110%と好調に推移し、また客数も増えており、まとめ買いの客も非常に多く見受けられる。
		百貨店（購買担 当）	お客様の様子	・今月からクリアランスがスタートし、天候にも恵まれたせいか、夏物の売行きが前年よりも良く、婦人服フロアでは、全館の中でも特に好調といえる。また、中旬以降では秋色夏素材といった晩夏、秋物の売行きが良く、各アパレル業界でも、バリュー価格での戦略を取っているということもあり、客の購買意欲をそそる品づくりをしている結果、良い成果がでている。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・今年に入り、販売点数が前年の103%、今月で前年の106%といった形で、徐々に販売量が伸びている。それでも単価が下がっている分、今年の初めは売上は前年並であったが、ここへきて販売点数が106%から107%に伸びてきているため、売上も前年の104%から105%と伸びている。
		コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・夏らしい夏になってきたので、季節商品の動きが良くなってきた。
		衣料品専門店 （地域ブロック 長）	お客様の様子	・バーゲンに入りどんなものでもまとめ買いをする。クールビズ商品が今月も相変わらず売れている。
		衣料品専門店 （地域ブロック 長）	販売量の動き	・夏物衣料の動きが好調である。
		家電量販店（店 長）	来客数の動き	・7月の第1週ボーナス商戦は、雨等でスタートは良くなかったが、2週、3週と尻上がりに良くなりつつある。要因としては季節もの、温度が上昇したため冷蔵庫関係が良くなっている。
		家電量販店（予 算担当）	販売量の動き	・暑さ続きでエアコンが好調に推移している。全体的に単価が下がっているが、量でカバーできている。
		乗用車販売店 （統括）	販売量の動き	・取り立てて良いニュースがあるわけでもないのに、人が動き販売量もあるように感じる。仕事量が確実に増えている。
		乗用車販売店 （統括）	販売量の動き	・新型車効果による販売量が増加し、来店客も徐々に増えている。
		乗用車販売店 （販売担当）	販売量の動き	・身の回りの景気は決して良いとは思わないが、大型の集客イベントを企画して来客数を増大させ、受注量は対前年比150%で推移している。
		自動車備品販売 店（経営者）	販売量の動き	・販売促進に対する施策等へのお客様の反応も以前にも増して良くなってきて、接客商品、セルフ商品ともに動きが良くなっている。来客数も安定してきており、好調店舗では大きく前年実績を上回るようになってきている。
		その他専門店 [スポーツ] （店長）	来客数の動き	・ここ2か月、来客数、買上率ともに2、3%伸びている。
		その他小売（営 業担当）	単価の動き	・少額商品よりも一つ上の商品の販売量が増加傾向にある。
その他飲食[ハ ンバー] （経営者）	来客数の動き	・3か月前よりも客数、売上ともに伸びてきており上向き状態であるが、夏休み中の動向に不安が残る。		
観光型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・宿泊の人数は、若干ながら増えてきているが、先行の予約販売数がいまいち伸び悩んでいる。		

	タクシー運転手	それ以外	・今年はこちら4、5年の半数しかタクシー運転手の応募がない会社もあり、そうした会社にとっては非常事態になっている。ということは、タクシー以外の職種の景気が良く、求人数が多いというためではないか。我々タクシー業界にも影響がきて良くなると思われる。
	タクシー運転手	単価の動き	・今月はボーナスが出揃ったという影響もあり、2、3か月前までと比べると、利用回数、単価も少しではあるが、上向いている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・7月に入り、各地で祭や花火大会などで客の動きが良くなるにつれて、タクシーの利用も随分動くようになってきている。旅館、ホテルの動きも以前よりは出入りが良くなってきた。
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・売上全体は、7月はボーナスが出た割には良くない。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・大型店の開店セールも終わり、消費者の動きも落ちついてきた感じがある。しかし客寄せの特売セールにはやはり顧客が流れるようである。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・中心商店街の来客数が極端に減少している。また購買単価も低下している。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・あまり販売量にはつながらないが、先月位から以前に比べて客の表情というか、様子に少し明るさがみえてきたかなという感じがする。
	一般小売店〔靴〕（経営者）	販売量の動き	・相変わらず商品選びが非常に厳しい。価格も含めて商品を決定される条件が厳しくなっている。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・今月初旬は遅れてきた梅雨の影響で苦戦傾向だったが、その後梅雨明けして天気が回復するとともに前半のマイナスを取り返し、月トータルでは前年を上回る売上となる見込みである。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・夏物セールに入っても、価格に対してはシビアで低単価、単価買いは平日と変わらない。ヤングだけではなく、ミセスもジーンズ、デニム素材に対して関心が高く、これは売上を伸ばしている。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・商業テナントの売上を見ると、対前年を上回っているところが多いが、この傾向は以前から継続しており、今月、特によくなったとは言えない。
	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・中元商戦、夏のクリアランスを展開中であるが、いずれも前年比マイナスの推移。中元については、法人の受注減に加え、個人においても件数の絞込み、また単価ダウンが顕著化してきている。セールについても、完全な単品購買となっている。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・6月に続き、2か月連続で全社11店舗において、前年実績を上回る見込みである。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・百貨店としては、お中元とバーゲンの月であるが、中元関係については依然として非常に厳しい状況が続いている。ただ衣料品、雑貨関係については、月初のスタートダッシュも非常に良く健闘している。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・例年になくセールが前倒しになって、秋物が入荷してきているが、客はまだ秋物には見向きもしてくれない状態である。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・昨年と同様、今月もかなりチラシなどで販売促進をしているために客単価は前年並で推移をしているが、食糧、飲料、米などはドラッグストア、ホームセンターの集客商品としての超特価販売などに流れることにより売上減が大きい。
	スーパー（店長）	競争相手の様子	・客単価、販売量ともに競合店の出店もちょっと落ちついて、今のところ大きな変化がない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・7月は、梅雨にも関わらず、雨の日が少なかったせいもあり、客数が昨対107%前後で推移しており、客数としては好調であった。しかしながら買上げ点数が昨年度よりも1点近く落ちており、横ばい状況となっている。そのため売上の的には昨年と変わらず、ほぼ100%前後で推移している。	
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価が3か月前と比べて変動なし。前年比で95%前後をずっと推移している。	

スーパー（店長）	単価の動き	・一人当りの買上客単価が前年と比較して下がっている。
スーパー（店員）	単価の動き	・相変わらず目玉商品の減り方は大きいですが、例えば通常の特売であれば売上は今ひとつ伸びない。量目が減少していても単価の低いものを選ぶ傾向がある。
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・猛暑なので、そういった関連のところでは少し良い感じはするが、全体的には横ばいである。
スーパー（店舗運営担当）	販売量の動き	・7月の下旬にずれこんだ梅雨の影響が非常に大である。後半、土用の丑の日等で追い上げたが、わずかに目標未達となる見込みである。海、山のレジャー等で出費もあり、夏物商材以外の買上げ点数が伸びていない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・今年は、出足が梅雨にたたられて単価の動きも良くなかった。しかしこここのところ暑くなり、水物を中心とした動きもまずまずの結果が出てきているので、数字としてはどちらともいえない。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・夏物バーゲンに入ってからTシャツ等の単価の安いものばかりの動きが目立つ。その分売上につながらない。
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・6月もそうであったが、クールビズの影響があり、ワイシャツ、スラックスのカジュアル関係は、かなり伸びているが、背広に関しては、やや点数がダウンしている。
衣料品専門店（販売促進担当）	販売量の動き	・今月は売上自体は、昨年とほぼ同じ位であるが、来店客数も若干落ちており、猛暑のために日中の客の動きが鈍く、夕方涼しくなってきたら動き出す傾向である。暑いこともありショートパンツ、タンクトップあたりが今月は好調である。
家電量販店（店長）	販売量の動き	・ボーナスシーズンにも関わらず、販売が不振である。エアコン、白物などは買い替えが多数で、特にエアコンの新規がほとんどない。
住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・約3か月位前から客数が前年比の90%位、売上は単価が上がっているため、96%くらいで推移していて、状況としては落ち込んだままの状態回復をしていない。
一般レストラン（店長）	単価の動き	・牛肉の高騰のために、鉄板焼の当店には大変厳しい声が客から上がっている。豚肉、鶏肉で対応しているが、客単価も上がらず早期の輸入再開を願うばかりである。
スナック（経営者）	競争相手の様子	・この辺りの商店街の店がだんだんとシャッターを降ろしている。また文房具店など、役所などが相手であるため、日曜日だというのに店が開いていない店も何店もある。そういう店もあるので、街の地盤沈下が激しい。
都市型ホテル（従業員）	お客様の様子	・夏の宴会企画セールスの際の顧客の様子に、不況慣れした感があり、活気が感じられない。
都市型ホテル（総務担当）	販売量の動き	・宿泊に関しては前年対比増加傾向となっはいるものの、他の部門においては依然低迷しており、前年対比マイナス基調に大きな変化はみられない。
通信会社（経営者）	お客様の様子	・加入契約数がここ1年低下したままであり、かつ解約も増加している。純増加数も低迷したまま推移しており、さらに減少も見られ、一層悪くなっているようにも見える。
ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・本年は特に猛暑により来客数が落ちている。
美容室（経営者）	単価の動き	・客数の上昇にともない、売上が上がるという従来の状況ではなく、一人一人の客の消費が減っている。客数は増えていても売上は下がっている。
美容室（経営者）	お客様の様子	・7月は夏休みの時期で、学生が多く来店する。しかし同業者との間では、あまり例年ほど忙しくならなかったような話をお互いしている。
設計事務所（経営者）	販売量の動き	・建設業の関係においては、毎度のことであるが、低迷化が続いており、皆さんの話を聞いても、非常に販売量が伸びないということをよく聞く。
設計事務所（経営者）	販売量の動き	・住宅新築工事の設計受注件数が、このところ少ないまま横ばい状態にある。

	住宅販売会社 (経理担当)	販売量の動き	・月次の販売目標を達成した現場もあるが全体としては未達成の現場が多い。現時点で5割程度の達成率である。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	単価の動き	・高級子供服を扱っているが、需給バランスが崩れて久しい。客が実際に支払う金額も少なくなっているが、より良いものということで、今までは5000円で買った客が、今では3000円くらいで同じ価値のものを買おうとしている。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・我々の商店街にはますます、来街者が少なくなっている。今年に入ってから顕著になっている気がする。
	一般小売店 [茶](経営)	お客様の様子	・中元の動きが全く悪い。商売をする者自体がおとなしくなっている。
	一般小売店[印章] (営業担当)	来客数の動き	・最近法人関係の注文が少なくなっているようである。また、目立っているのは代表者変更のゴム印の注文が多く、世代交代が進んでいるようだ。
	スーパー(総務担当)	単価の動き	・平均単価の落ち込みのために、客数増にもかかわらず売上が昨年を1~2ポイント下回っている。
	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・3か月前と比較すると、売上は6.2%ダウンとなっており、前年比は大きく割っている。特に客数は約4.3%のダウン、絶対数で見ると33人の減、客単価は1.0%下がって前年割れである。7月前半の大雨が客数の伸び悩みの原因となっている。
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・価格競争が激化しており、売上が低迷する中で、売上率を重視するため、売上を伸ばそうと思えば利益が出ない状況である。夏物の水ようかん等はよく動いているが、主力の食パン等の定番が動いていないのが現状である。
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・7月の前半は雨が多く、アイス、飲料、ビールの売行きが非常に悪く、大幅に売上が低下した。通常6月より7月の方が売上は上がるのに下がった店が多かった。
	家電量販店(店員)	来客数の動き	・売場によると思うが、自分のDVDのコーナーの売場の客の来客数が少ないと思われる。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・2~3か月前は客室部門、料飲部門共に前年度を上回ったが、今月は両部門とも前年を大きく下回る。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・例年と比べ夏休みに入ってから家族や団体の旅行が少なくなっている。愛知万博の影響のようだ。
	タクシー運転手	お客様の様子	・どの業種でも少しはいいと話がでた3月のような月もあったが、現在業種関係なく、良い話を一つも教えてもらえない。皆、苦戦してマイナスのように聞く。
	通信会社(社員)	販売量の動き	・3か月前と比べて販売量、来客数ともに減少している。
テーマパーク (財務担当)	来客数の動き	・7月前半は元々閑散期ではあるが、中旬になっても回復が見られない。単に猛暑によるものなのかどうかは不明だが、特に昼間の入園者数が伸びない。単価的にも少し低下しており、全体的にやや悪くなっている。	
テーマパーク (広報担当)	来客数の動き	・暑い日が続き、日中の来客者が目にみえて減っている。夕方以降の来客でカバーが必要だが、日中の減少分には追いつかない。	
設計事務所(経営者)	競争相手の様子	・「倒産した。」「倒産しそうだ。」との声が多く聞こえるようになった。	
住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・来場数において、3か月前の60%まで落ち込んでいる状態にある。平日においては、来場者が全くない日もある状態が5日ほどあった。昨年同時期の80%になっている。	
悪くなっている	その他専門店 [時計](経営者)	単価の動き	・客単価も客数もともに悪い。時計の新製品のメーカー新聞一面広告が掲載されても反響ほとんどない。
	その他専門店 [カメラ](地域ブロック長)	販売量の動き	・先月末頃より売上にかげりがみえていたが、7月(ボーナス商戦)になると売上数の激減に悩まされている。昨年との天候の違いは売上に若干は影響していると思うが、特に中国地域の昨年売上比の悪さには驚くほどである。
	タクシー運転手	来客数の動き	・最近単独で飲食する人が増えてきて、接待とか商談関係がほとんどない。

企業動向関連	良く なっている	輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・日曜日の夜以外、昼夜で稼働を始めた職場ができた。
	やや良く なっている	化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・生産量、出荷量共に先月と大きな変化はなく安定しており、社内は全般に高稼働率である。物流費・原燃料費高等の影響を受けながらも好景気の影響で、利益が出ている。
		化学工業（総務担当）	取引先の様子	・各社設備の増設を2年から4年内で考えている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・自動車関連は好調な受注が止まらず(国内・海外とも)、梅雨明けの猛暑も予想通りでエアコンのラインはフル操業となっている。
		建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・マンション事業における建設戸数が上昇している。また製造業における、設備投資（建設関係）も若干ながら実現しだした。
		金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・輸出を中心とした主力車の販売好調を背景に、生産はフル操業を持続中である。樹脂原料価格の上昇などコストアップはあるが、高稼働により吸収し、利益水準は高水準を維持している。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・建設業は相変わらず不振だが、サービス関連がやや持ち直してきている。また小売関連では、食料品や衣料品といった生活必需品関係は、あまり改善はみられないものの、レジャーや嗜好関係は販売がやや上向きになってきている。
変わらない	繊維工業（統括担当）	取引先の様子	・この時期は我々の商品が動かない時期なので、取引先との次のシーズンに向けた打ち合わせ等するが、特別良くなる感じもないし、かといって特別に悪くなる感じもないという状況である。	
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は3か月前と同水準であり、好調を持続している。生産が追いつかず、苦慮している。国内の既存下請先もフル生産で操業しているため、海外の下請先を検討中である。	
	一般機械器具製造業（経営企画担当）	それ以外	・北米を中心とした海外向けの自社製品の売上が好調に推移しているが、原材料の高騰による生産コストの悪化が続いており、損益面では非常に厳しい状況である。	
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・継続して国内の販売状況はあまり芳しくないようで、受注に結びつかず、注文がなかなかでない。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・良い材料はあまりなく、元々つきあいのあった老舗の建設業が廃業するなど、むしろ悪い材料がじわじわきいてきている状況にある。	
	輸送業（統括）	それ以外	・各顧客へのセールスが一巡したが、特に今月は動きが見られなかった。また、今年の11月に施行する法律に対応するため、従業員に対する資格取得の推進など他の方面で支出を余儀なくされ、特に景気に対する向上等は感じない。	
	通信業（社員）	受注量や販売量の動き	・既存のお客様からの受注分の増は四半期を終えてまだ見込めず、減少傾向である。新たなメニュー提案にて奮闘しているが厳しいものがあり、受注まで至っていない。	
	通信業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・年度の4分の1を経過した時点で企業通信サービスの受注量は計画を下回る状態が続いており、廉価商品への乗り換え傾向は変化していない。セキュリティ性能の向上など高価な専用線に近い品質を確保する努力を提供業界が進めていることもあるが、結果的には貴重な収入源を自ら切り崩すことになっているのも事実である。	
金融業（営業担当）	取引先の様子	・山口県の郡部にいくと、相変わらず建設業が公共工事頼みで工事が全然でない。しかも従来は町単位の仕事があったのが、市町村合併により市全体になり、郡部だった地域の工事はどんどん少なくなっている。なかなか景気回復が地方まで、特に郡部の方に回ってきていないのが実感である。		

	不動産業（経営者）	取引先の様子	・一向に景気が上向きにならないがために、部屋を借りる方、企業、個人が借りる手控えをしている。従って非常に契約率が上がらないという状況が続いている。	
やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・新規案件の引き合いが少なく、生産量が一定水準になかなか到達しない。	
	非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・中国向け特需やIT向けも在庫調整の一服感がある。今後に向けて、増産準備を進める意味では、時間が稼げているという考え方もできる。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量はやや減少しており、従って生産高も少し減少している。一方購入資材は高値のまま推移しており、採算的には厳しい状況が続いている。	
	コピーサービス業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が赤字でなければ受注できない。	
悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・今月中旬過ぎよりこれまで不漁であったマイカの水揚げが好調である。ただイカ釣り船ではなく定置網と1本釣りでの漁業であるため、全体の底上げにはなっていない。また例年この時期が招かれざる客としてありがたない越前くらの発生が出始めた。数日前も巻き網船に20tのくらがに入った。そろそろ浜田の方にも流れてきそうで心配している。	
雇用関連	良くなっている			
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・相変わらず求人の動きは活発で、顧客ニーズに合う労働者不足が課題である。
		人材派遣会社（担当者）	採用者数の動き	・パート・派遣などにおいては、採用者数は確実に上がってきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人は大きな変化はないものの増加傾向となった。増加した業種は、情報サービス業と飲食店で、内容はコールセンターの増員求人とレストランの新店舗オープンスタッフの大量求人が増加要因となっている。加えて、アウトソーシング業からの新たな営業所開設に伴う求人募集も増加要因となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・来春高校卒業予定者の求人の提出が好調である。前年同時期と比べて50%の増加となっている。また、一般求人も前年同月に比べ増加傾向にある。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・これまで財務系の求人依頼というのは少ない部類であったが、ここ最近非常に増えてきている。積極的な資産運用、資金調達へと乗り出したのではないかとと思われる。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・地場準大手のシステム開発企業で、注文に追いつくために開発要員の増員を最大で20名急募した。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規学卒者を含め、求人の提出状況が多少落ちついた感がある。請負、派遣求人は、前年に比べては増加しているが前月、前々月に比べては減少している。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・3か月前と比較して、新規求人数、新規求職者ともに減少した。派遣、請負求人にも落ちつきがみられるが、大きな変化ではない。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・前年同時期と比べても新卒への求人受理件数に大きな増減が見られず、地域経済は「足踏み」といった状況が感じられる。地域企業の採用担当者に聞くと、新卒採用の有無はまだ分からないと答える事業所も多く、先行きはなお不透明である。
やや悪くなっている				
悪くなっている	-	-	-	